



## ■「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」(大崎町学校参観週間)

11月1日(木)から7日(水)までの1週間は、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」でした。

期間中学校では、道徳の授業参観や学習発表会、祖父母参観、読書祭り等が開催されました。地域の多数の方々に各学校へ来校していただき、普段は見ることのできない子ども達の授業の様子や先生方の頑張りを見ていただくことができました。

大崎町では、県民週間や土曜授業を含め、保護者や地域の方々による学校参観を推進しています。また、学校応援団として学習活動、安心・安全確保、環境整備などに興味のある方やボランティアとして協力も合わせて募集しています。いつでも各学校にお問い合わせください。



大丸小学校『読書祭り』の様子

# 僕らの夢 私の夢 『母の背中』

No.34 大崎小学校 6年 塩崎 ななみ

私の将来の夢、それは医者になることだ。これは私が小学1年生のころから抱いている夢だ。

医者という職業は、たくさんの人の命を預かり、その人の今後の人生を大きく左右することになるかもしれない、責任重大な仕事だ。医者になりたいと思ったのは、看護師をしている、母のおかげだ。

私は小さいころ、よく腕の関節が外れたり、転んでけがをしたりして、泣きながら母の元へかけよっていた。泣きじゃくる私に母は、「大丈夫、すぐに痛くなくなるからね。」と優しく声をかけ、いつも笑顔で手当てをしてくれた。そんな母の姿を見ていて、次第に母のように、医療に関わる仕事がしてみたいと思うようになっていった。

母は、今も私が具合が悪いと、優しく声をかけてくれる。そんな母の一言が、私の体をいやしてくれるだけではなく、夢をかなえるための勇気をくれる。

今、私は、その夢を実現させるためにがんばっている。この先、くじけそうになるときがあるかもしれない。そんなときは、目標としている母の背中を思い出そうと思う。そうすれば、私の夢の始まりを再確認し、高い壁も乗り越えることができるだろう。私の目標となり、いつも私を応援してくれる母に感謝したい。